

McSS 業種別財務統計データ

業種：輸送用機械器具製造業
(企業数：9,999社)

この財務統計データの知的財産権など一切の権利は、CRDビジネスサポート株式会社に帰属します。複製、転売などは、固く禁じられています。

CRD法人2015年決算データ(2018年2月末時点)

指標名		良否	同業種中央値	指標の意味
①総合収益性【貸借対照表、損益計算書で企業の経営状態を評価する指標】				
1	総資本営業利益率 営業利益÷総資本(総資産)×100【%】	↑	9.99	企業が総資本(総資産)を使って営業活動を行った結果、どの程度営業利益を上げたかを示す指標です。総資本とは負債と資本を合計したものです。
2	総資本経常利益率 経常利益÷総資本(総資産)×100【%】	↑	9.99	企業が総資本(総資産)を使って経営活動を行った結果、どれだけの経常利益を上げたかを示す指標です。
3	総資本当期純利益率(ROA) 当期純利益÷総資本(総資産)×100【%】	↑	9.99	企業に投下された総資本(総資産)が、利益獲得のためにどれだけ効率的に利用されたかを示す指標です。
4	自己資本当期純利益率(ROE) 当期純利益÷資本合計(※)×100【%】	↑	9.99	調達資本を自己資本に限定して、当期純利益と比較することによって、自己資本が利益獲得のためにどれだけ効率的に利用されたかを示す指標です。※資本合計がゼロ以下のデータを母集団から除いて中央値を算出しています。
51	労働生産性(CRDデータ項目定義) (経常利益+労務費(売上原価中)+人件費(販管費中)+支払利息-割引料-受取利息-配当金+賃借料(売上原価中)+賃借料(販管費中)+租税公課(売上原価中)+租税公課(販管費中)+減価却実施額)÷期末従業員数【千円】	↑	9,999	従業員一人当たりの付加価値額のことを示し、投入された労働力が効率的に利用されているかを示す指標です。
②売上高利益【損益計算書の勘定科目で企業の収益性を評価する指標】				
5	売上高総利益率 売上総利益÷売上高×100【%】	↑	9.99	売上高に対する売上総利益(粗利益)の割合を示す指標です。
6	売上高営業利益率(ロカベン指標) 営業利益÷売上高×100【%】	↑	9.99	売上高に対して本業からの利益をどの程度生み出すことができたかを示す指標です。経産省公表『ローカルベンチマーク』の財務指標『営業利益率』に相当します。
7	売上高経常利益率 経常利益÷売上高×100【%】	↑	9.99	財務活動等も含めた通常の企業活動における、売上高に対する経常利益の割合を示し、金融収支等も含めた総合的な収益力を示す指標です。
8	売上高当期純利益率 当期純利益÷売上高×100【%】	↑	9.99	売上高に対する当期純利益の割合を示し、企業活動が株主の配当原資や資本の増加にどの程度結びついたかを示す指標です。
9	売上高販管費率 販売費および一般管理費÷売上高×100【%】	↓	9.99	売上高に対する販売費および一般管理費の割合を示す指標です。
10	売上高対人件費比率 人件費(販管費中)÷売上高×100【%】	↓	9.99	売上高に対する販売費および一般管理費の中の人件費(販管人件費)の割合を示す指標です。
③回転率・回転期間【貸借対照表の勘定科目を売上高から見た際に、投下資本の活動を把握・評価する指標】				
11	総資本回転率 売上高÷総資本(総資産)【回】	↑	9.99	企業が経営活動に投下した総資本の回収速度を示し、総資本(総資産)の運用効率を示す指標です。
12	売上債権回転日数(割引・裏書譲渡手形含む) (受取手形+売掛金+受取手形割引高+受取手形裏書譲渡高)÷売上高×365【日】	↓	9.99	割引手形と裏書譲渡手形を含む未回収の売上債権の回収に何日かかるかを示す指標です。
13	棚卸資産回転日数 棚卸資産合計÷売上高×365【日】	↓	9.99	製品、仕掛品、原材料等の棚卸資産の平均的な在庫期間を示し、棚卸資産に投下された資本の効率を示す指標です。
14	有形固定資産回転率 売上高÷有形固定資産合計【回】	↑	9.99	土地・建物、機械設備等の有形固定資産の回収速度を示し、有形固定資産の運用効率を示す指標です。

McSS 業種別財務統計データ

業種：輸送用機械器具製造業
(企業数：9,999社)

この財務統計データの知的財産権など一切の権利は、CRDビジネスサポート株式会社に帰属します。複製、転売などは、固く禁じられています。

CRD法人2015年決算データ(2018年2月末時点)

指標名	良否	同業種中央値	指標の意味
15 買入債務回転日数 (支払手形+買掛金)÷売上高×365【日】	↓	9.99	仕入に伴う買入債務を支払うには何日分の売上高が必要であるかを示す指標です。
52 運転資金月商倍率(ロカベン指標) ((受取手形+売掛金)+棚卸資産合計-(支払手形+買掛金))÷(売上高÷12)【月】	↓	9.99	所要運転資金(売上債権+在庫-買入債務)が何ヵ月分の売上高に相当するかを示すことで、資金繰り状況を把握するための指標です。経産省公表『ローカルベンチマーク』の財務指標『営業運転資本回転期間』に相当します。
④短期支払能力【資金調達の原因と運用を分析することにより短期支払能力を評価する指標】			
16 流動比率 流動資産合計÷流動負債合計×100【%】	↑	9.99	短期的に支払義務のある流動負債に対して、その支払手段となる流動資産がどれくらいあるかを示す指標です。
17 当座比率 (現金・預金+受取手形+売掛金)÷流動負債合計×100【%】	↑	9.99	換金性の高い当座資産と1年以内に支払期限が到来する流動負債との比率で、短期の支払能力を表す指標です。
18 支払準備率 現金・預金÷流動負債合計×100【%】	↑	9.99	短期的に支払義務のある流動負債に対して、その支払手段である現金・預金がどれくらいあるかを示す指標です。
19 現預金比率 現金・預金÷売上高×100【%】	↑	9.99	売上高に対して、手元の支払手段である現金・預金がどれくらいあるかを示す指標です。
⑤資本の安定性【資金調達の側面から自己資本の安定性を分析する指標】			
20 自己資本比率(ロカベン指標) 資本合計(※)÷総資本(総資産)×100【%】	↑	9.99	企業が使用する総資本のうち、自己資本の占める割合がどの程度あるかを示し、資本構成から企業の安全性をみる指標です。経産省公表『ローカルベンチマーク』の財務指標『自己資本比率』に相当します。
21 純資産倍率 資本合計(※)÷資本金【倍】	↑	9.99	自己資本の資本金に対する倍率で、内部留保(資本剰余金、利益剰余金等)の蓄積がどれくらいあるかを示す指標です。
⑥調達と運用の適合性【調達資金の負債、自己資本と運用の結果である固定資産とがどの程度適合しているか評価する指標】			
22 固定長期適合率 固定資産合計÷(資本合計(※)+固定負債合計+特別法上の準備金)×100【%】	↓	9.99	自己資本と社債・長期借入金等の固定負債によって固定資産がどの程度賅われているかを示す指標です。※計算式中の分母部分がゼロ以下となるデータを母集団から除いて中央値を算出しています。
23 固定比率 固定資産合計÷資本合計(※)×100【%】	↓	9.99	固定資産に投下された資本がどの程度自己資本で賅われているかを示す指標です。※資本合計がゼロ以下のデータを母集団から除いて中央値を算出しています。
⑦借入状況【資金の調達に関連している指標】			
24 借入金依存度 (短期借入金+社債・長期借入金+受取手形割引高)÷(総資本+受取手形割引高+受取手形裏書譲渡高)×100【%】	↓	9.99	企業が保有している資産のうち、どのくらいの資金が外部からの借入金等によって賅われているかを示す指標です。
25 デットキャパシテリシオ (短期借入金+社債・長期借入金+受取手形割引高)÷(現金・預金+有形固定資産合計)×100【%】	↓	9.99	企業が保有している現金・預金および有形固定資産と、有利子負債との比率で、資産を担保とした追加的な資金調達余力を示す指標です。※計算式中の分母部分がゼロ以下となるデータを母集団から除いて中央値を算出しています。
26 預借率 現金・預金÷(短期借入金+社債・長期借入金+受取手形割引高)×100【%】	↑	9.99	借入金総額に対する現金・預金の比率で、借入金の返済に備え、どれくらい現金・預金を確保しているかを示す指標です。
27 借入金月商倍率 (短期借入金+社債・長期借入金)÷(売上高÷12)【倍】	↓	9.99	借入金が月商の何倍あるか、売上規模に対する借入規模の水準を示す指標です。
28 売上高支払利息・割引料率 支払利息・割引料÷売上高×100【%】	↓	9.99	売上高に対して、どの程度支払利息・割引料があるか、金利負担の水準を示す指標です。

McSS 業種別財務統計データ

業種：輸送用機械器具製造業
(企業数：9,999社)

この財務統計データの知的財産権など一切の権利は、CRDビジネスサポート株式会社に帰属します。複製、転売などは、固く禁じられています。

CRD法人2015年決算データ(2018年2月末時点)

指標名	良否	同業種中央値	指標の意味
⑧債務償還能力[有利子負債に対する利益償還能力を評価する指標]			
29 キャッシュフロー有利子負債比率 (当期純利益+減価償却実施額)÷(短期借入金+社債・長期借入金+受取手形割引高)×100【%】	↑	9.99	有利子負債に対し、返済財源であるキャッシュフロー(当期純利益に、現金支出を伴わない費用である減価償却実施額を加えた額)がどの程度あるかを示す指標です。
30 インタレストカバレッジレシオ (営業利益+受取利息・配当金)÷(支払利息・割引料)【倍】	↑	9.99	事業利益(営業利益+受取利息)が金融費用の何倍あるか、経常的な収益による金利支払能力を示す指標です。
53 実質債務償還年数(ロカベン指標) (社債・長期借入金+短期借入金+受取手形割引高-現金・預金)÷(営業利益+減価償却実施額)【倍】	↓	9.99	有利子負債から現金預金を引いた実質的な債務が、営業利益ベースの実質的な返済財源の何年分かを示します。経産省公表『ローカルベンチマーク』の財務指標『EBITDA有利子負債倍率』に相当。※計算式中の分母部分がゼロ以下となるデータを母集団から除いて中央値を算出しています。
⑨資産の健全性[企業の保有する資産の健全性を評価する指標]			
31 減価償却率 減価償却実施額÷(有形固定資産合計-土地+減価償却実施額)×100【%】	↑	9.99	土地を除く有形固定資産に対する減価償却実施額の割合を示す指標です。減価償却が適正に実施されているかを評価します。
32 売上高減価償却費率 減価償却実施額÷売上高×100【%】	↑	9.99	売上高に対し、減価償却費がどの程度計上されているかを示す指標です。減価償却が適正に実施されているかを評価します。
33 流動資産その他流動資産比率 その他流動資産合計÷流動資産合計×100【%】	↓	9.99	実質的に資産性が乏しいことの多い「その他流動資産」が、流動資産合計に占める割合を示す指標です。
⑩成長性[前期と今期の決算書を比較して企業の成長性を評価する指標]			
34 前年比増収率(ロカベン指標) (売上高(当期)÷売上高(前期)-1)×100【%】	↑	9.99	売上高が前期と比較してどれくらい増減したかを示す指標です。経産省公表『ローカルベンチマーク』の財務指標『売上増加率』に相当します。
35 総資本増減率 (総資本(当期)÷総資本(前期)-1)×100【%】	↑	9.99	総資本が前期と比較してどれくらい増減したかを示す指標です。
(※)資本合計 … 純資産合計-新株予約権 ※ 同業種中央値は、「最小表示の位」の1つの下の位を四捨五入して表示しています。			